

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- | | | | | |
|---|------|---------------|------------------|--------------------------------|
| 1 | 会議名 | 岐阜県立加納高等学校 | 学校運営協議会（ゆめ会議かろう） | （第1回） |
| 2 | 開催日時 | 令和4年 6月 1日（水） | 13：30～15：00 | |
| 3 | 開催場所 | 加納高等学校 | 校長室 | |
| 4 | 参加者 | 会長 | 尾関孝彦 | 元県立高等学校校長 同窓会参与
中山道加納宿保存会会長 |
| | | 副会長 | 佐藤昌宏 | 元岐阜大学教育学部美術教育教授 |
| | | 委員 | 岩田百里 | P T A会計 |
| | | | 中村規子 | ナーシングケア加納 施設長 |
| | | | 志知正博 | 加納西自治会連合会副会長 |
| | | | 水野律子 | 加納まちづくり会会長 |
| | 学校側 | 高橋宗彦 | 校長 | |
| | | 大平隆司 | 教頭 | |
| | | 大前幸弘 | 事務部長 | |
| | | 山田茂雄 | 教務部長 | |
| | | 武藤芳紀 | 総務部長 | |
| | | 大野超子 | 総務部担当 | |

5 会議の概要（協議事項）

（1）運営機構、教育指導の重点及び学校経営計画、教育課程について

意見1：教科書が変わったが、何がどのように変わったのか。

⇒国語科と地理歴史科が特に変わった。例えば地理歴史科においては、歴史総合という科目が新たに設置され、近代以降の歴史（日本史＋世界史）について主題を設定しながら学んでいく。

意見2：これまでの学習内容とは違うが、時代に即した枠組みのなかで学びを深めることはよいことである。

意見3：学校設定科目については、教科書がないが、教員が教材を作成するのか。

⇒副教材的な、準教科書に当たるものを採択している。

意見4：生徒のニーズに応えることはよいことだと思うが、学校側の負担が大きくなるのも課題であろう。

（2）地域とともにある加納高校をめざしてについて

意見1：加納小の創作オペラにはどのように関わっているのか。

⇒美術科の生徒が舞台の装置作りを手伝い、音楽科の生徒が演奏や歌唱指導をサポートしている。

意見2：和傘の講演会は、日本画に興味がある生徒にとっていい行事である。

意見3：加納の交流センターについて、今までコロナの影響でなかなかできなかったが、ホールに美術科の生徒の作品を飾ったり、音楽科の生徒の発表を企画したり、これからいろいろと催し物を計画したい。

意見4：今後も、地域に溶け込む学校を目指してほしい。

(3) 昼食時の購買について

意見1：大学だと構内にコンビニがあるが、高校はそうもいかないと思うので、コンビニ自販機が便利ではないか。

意見2：現在自販機（飲料水）を置く場合には、どのような手順が必要なのか。

⇒一般競争入札により業者を決定し、その後は賃貸借料と使用に係る電気代を県に納めることとなっている。

意見3：コンビニが近くにあるので、コンビニ自販機はなくてもいいとも思うが、あれば便利である。

意見4：部活動の後学校で勉強していると、19時を過ぎてしまい、家に帰るのは20時過ぎになる。コンビニ自販機があれば大変ありがたい。

意見5：既にコンビニ自販機を導入している学校で、何かトラブルなどあったか。

⇒特に聞いていない。

(4) その他

意見1：地震など大きな災害が起こったとき、避難所としての扱いはどうなっているのか。グラウンドへ入ることはできるのか。

⇒避難所の開設については、岐阜市の防災部門が扱うことになる。岐阜市が避難所として本校を使用すると判断した場合、岐阜市の要請に基づき市の担当者立ち会いのもと、本校を避難所とすることになる。

意見2：音楽科の志願者が今年は特に少なかったが、どうしてか。

⇒趣味として音楽を好む生徒はいるが、卒業後の進路選択が難しいと思われているのも要因ではないか。だからと言ってハードルを下げるのではなく、音楽のスペシャリストを育てていきたい。

意見3：美術では、自分でテーマを見つけて表現する表現力がますます問われている。

意見4：美術科の授業を見て、どの生徒も個性が大変はっきりしていると感じた。3年間でこんなに描けるように上達するのだなと感心した。

意見5：探究心が求められているので、生徒は大変である。

意見6：美術科で、才能ある生徒が努力している姿を見て、進路実現に期待を寄せているが、学校として生徒のキャリアサポートをどう行っているのか。

⇒美術科では、生徒の自助努力はもちろん、再受験を選択する場合も教員が家庭と連携を取ってフォローしている。今では企画力・構成力に期待して、芸術大学の卒業生を望む企業も多く、音楽科も音楽のプロになることだけでなく、幅広い分野の企業で、学んだことを生かす道もあること等を考えさせていきたい。

意見7：部活動で活躍している生徒が多い。全国総文祭も頑張してほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

本日得られた、貴重な意見・助言は、職員会議等で全職員に伝え、今後の本校の教育に生かしていきたい。